

質問

1歳になる男の子の母親です。息子に健康で「停留精巣」と言われました。触ってみると右側だけか、いろいろとした感じがなく、左側にはありません。生後、自然に降りてくるはずの睾丸が、腹腔内か、陰嚢に降りてくるまでの途中に凍っているようです。しばらく様子を見ていましたが、近々手術するようになりました。初めての男の子なので心配です。手術すれば無事に治るのでしょうか。

睾丸が陰嚢に降りていない

相談室

徳島医師会

答え

精巣は、腹腔内に発生し、通常、生まれる前には陰嚢内に下降しています。陰嚢内に下降していない精巣を停留精巣と言います。その頻度は、1歳で11.0～11.7%と報告されています。

停留精巣



高橋 正幸 副科長

徳島大学病院泌尿器科 (徳島市蔵本町2)

あつた場合、精巣腫瘍がおこるリスクは4～5倍になると報告されています。

停留精巣は、生後の1カ月までであれば、自然に陰嚢内まで下降する可能性があります。生後の1カ月を越えれば、陰嚢内まで下降する可能性は

低く保たれています。停留精巣の場合、精巣は陰嚢より上の下腹部にあるため、陰嚢内にある精巣に比べて、温度が高い環境にあります。精巣はこの高い温度環境で育つと、その将来精巣が下腹部にある状態が続けば、将来の精子形成に関わる精巣の細胞に悪い影響が出ます。

適切な時期に手術必要

手術をすれば治るのか、という質問ですが、まれに固定した精巣が再度陰嚢の外に上昇する可能性があるもの、ほとんどの場合、精巣は術後に陰嚢内に固定され、精巣の温度環境が良くなりま

す。手術は、下腹部に約2センチ、陰嚢に約1センチ程度の切開を行います。

手術をするのは治るのか、という質問ですが、まれに固定した精巣が再度陰嚢の外に上昇する可能性があるもの、ほとんどの場合、精巣は術後に陰嚢内に固定され、精巣の温度環境が良くなりま

す。手術は、下腹部に約2センチ、陰嚢に約1センチ程度の切開を行います。

たという報告があり、無治療と氏名を明らかに改善していません。

また、正常な方と比べて差がなかったという報告もあります。将来、パートナーの女性が妊娠に至り、父親になることのできる割合は、66～90%と報告されています。

もし、両方の精巣が停留精巣であったときは、無治療で経過観察をした場合、ほとんども、精子の数が極端に少ない精子症あるいは無精子症になります。

精巣固定術を行った場合、精液検査で正常であったのは42～50%、将来父親となれる可能性は33～65%と報告されており、片方だけの停留精巣より、これらの可能性は低くなります。

手術により、精巣が腫瘍になる可能性が下がるかどうかについては、これまで十分な研究がなされてきていませんが、10歳未満で精巣固定術を受ければ、停留精巣が癌化するリスクは上昇しないという報告があります。

以上より、停留精巣は適切な時期に精巣固定術を受ける必要があります。手術により、精巣の機能を守り、将来の妊娠できる可能性が高くなります。